

---

# Mounting & Maintenance

取付けおよびメンテナンス

## Oversize Pulley Wheel Aero System

For SRAM Red/Force AXS



**CERAMICSPEED**

# Maintenance

## メンテナンスについて

Oversizes Pulley Wheel (OSPW) のメンテナンスを適宜行いましょう。頻度は走行される地域の気候により変わります。

摩耗したチェーンをそのまま使用すると、プリーホイールも著しく摩耗するため、チェーンが摩耗する前に交換してください。OSPWの点検は、雨天時の走行、洗車、またはチェーンの潤滑後に行いましょう。通常のメンテナンスでは、潤滑部(3ページを参照)にオイルを一滴垂らします。OSPWを水平に保ち、オイルをプリー内のベアリングに届けさせましょう。

OSPWには、CeramicSpeed Oilの使用を推奨します。このオイルは世界各地のCeramicSpeed取扱店またはウェブショップにてご購入いただけます。CeramicSpeed.comのサポートページで、メンテナンスの紹介ビデオをご覧ください。

OSPWはバイク用トラベルバッグに適合しないため、遠征時にはリアディレーラーごと取り外して持ち運んでください。

# Extended Maintenance

## 拡張メンテナンスについて

拡張メンテナンスを半年ごとに行いましょう。その際は、OSPWと左右両側のシールをディレーラーケースから取り外し、ディグリーザーで全てのパーツを洗浄します。その後、パーツを乾燥させ、CeramicSpeedのベアリング球にオイルを2滴垂らし、OSPWとシールを元の位置に取り付けます。

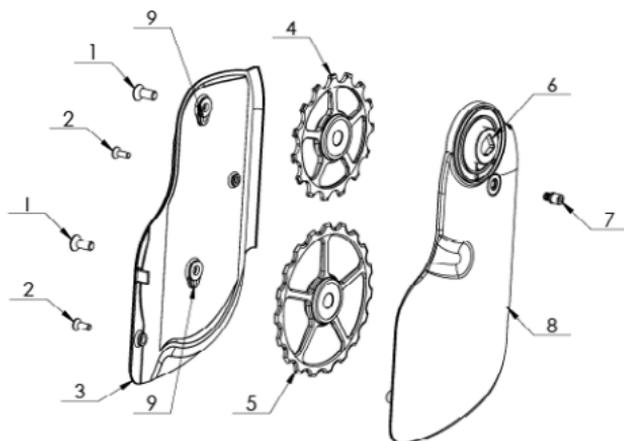
ケースプレートを取り外す際は、プリーホイールボルト(3ページ参照)を2.5mmの六角レンチで、タワーボルトを2mmの六角レンチで緩めます。各ボルトを取り付ける際は、プリーホイールボルトを1Nmで、タワーボルトを0.3Nmのトルクで締め付けます。その際はトルクレンチをお使いください。

雨天時やマッドコンディションを走行され場合は、拡張メンテナンスをより頻繁に行い、All Round Greaseで各部を確実に保護しましょう。

# Mounting the CeramicSpeed Oversized Pulley Wheel System Aero for SRAM Red/Force AXS

## Pos. 名称

1	プーリーホイールボルト
2	タワーボルト
3	バックケージプレート
4	アッパープーリー
5	ロワープーリー
6	ケージピボット
7	フロントケージプレート
8	回転ストップボルト
9	プーリーホイールの潤滑部



## 必要なツール

Ceramicspeed OSPW Aero for SRAM Red/Force AXS の取り付けには下記の工具が必要です。

- A: OSPWに付属する、4個の突起のついたナット取付用ツール
- B: 2mmの六角レンチ
- C: 2.5mmの六角レンチ
- D: チェーンツール
- E: トルクレンチ(0.9、1.5、3、6Nmを測定できるもの)
- F: 油性ペン



# Mounting Manual

## 取り付け方法

最高の走行性能を発揮させるべく、OSPW AERO (SRAM Red/Force AXS) を以下の手順に正しく従って取り付けてください。



1. バイクをスタンドに固定し、チェーンとリアホイールを取り外します。ディレイラーを上にならずして、後輪を取り外します。



2. リアディレイラーを取り外します。  
両方のプリーホイールとプリーケージの裏側のみを取り外します。



3. フロントケージプレートをディレイラーごとを掴み、付属の専用ツールでメインセンターナットを緩めます。

このとき、完全に外さないでください。  
ナットが十分に緩んだら、回転ストップボルトをディレイラー本体にある回転ストップの反対側まで回し、スプリングのテンションを解放させます。



4. メインセンターナットとバックケージプレートを取り外します。クラッチ機構により、ケージのスプリングにはわずかにテンションがかかっています。  
スプリングとナットは取付け後も使用しますので、保管してください。



5. OSPWを開封し、回転ストップボルトを取り外します(ケージを取り付けたら付け直します)。OSPWの裏側から4個のボルト全てを取り外して分解します。

これらのボルト、バックケージプレート、両方のプーリーホイールを保管します。



6. フロントケージプレートを掴み、リアディレラー内にあるD型センターポストを止まるまで半時計方向に回します。その後、フロントケージプレートを取り外します。

D型センターポストの切り欠きの向きがわかるよう、その端部(A)に油性ペンで印をつけます。OSPWのケージプレートの裏側には、D型センターポストの切り欠きの向きを示した線の印がついています。



7. スプリングをディレラー本体に取り付けます。スプリングポストを正しい穴に挿入してください。この穴は他の穴より深くなっています(写真を参照)。

スプリングがディレラー本体に確実に収まっていることを確かめます。



8. OSPWのケージプレートをディレラー裏側と合わせ、スプリングポストをケージ(B)のローテンション(L)にセットします。ここではD型センターポストの切り欠きの位置を合わせる必要はありません。



9. 中央のネジに元のケージナットをねじ込みます。付属のナット取付用ツール(4つの突起がついたツール)を使用して、センタースクリューに取り付けます。指でしっかりと締め付けた後、360度回します(1回転させます)。



10. D型センターポストにつけた印とケージプレート裏側の線との位置関係をメモします。ケージプレートをセンターポストに向かって時計方向に回し、メインセンターナットが回ったり締まったりしないことを確かめます。

ケージプレート裏側の線とD型センターポストの印が並ぶまで、ケージプレートを回します。位置が合ったら、ケージプレートをディレーラー本体に押し付け、D型の切り欠きを固定します。確実に固定させるには、ケージプレートを上下白左右に動かす必要があるかもしれません。付属の専用ツールを使い、メインセンターナットを6Nmのトルクで締め付けます。

センターポストのねじ山がナットの頭から出ている場合は、ケージプレートの取付けは完了です。



11. ケージプレートを前方に回し、2.5mmの六角レンチを使って回転ストップボルトを3Nmのトルクで締め付けます。



12. OSPWエアロケージのアップパーポストに15歯プーリーを、ローパーポストに19歯プーリーを取り付けます。プーリーの印を外側(ケージプレートのロゴがある側)に向けます。バックケージプレートを載せ、2.5mmの六角レンチを1.5Nmのトルクで取り付けます。上下のタワーボルトは2.0mmの六角レンチで0.9Nmのトルクで締め付けます。



13. ディレイラーを自転車に取り付けます。カセットをトップギアに変速し、リアホイールを取り付けます。

チェーンを取り付けるには、ケージを持ち、地面と水平になるようにします。チェーンをケージの後方から送り、アップパープーリーの前でチェーンがケージを出るようにします。チェーンの半分をOSPWAERO内に引き込みます。



14. 残りのチェーンがよじれていないことを確認し、もう一方のチェーンの端をケージの後部に送り込みます。

ケージの後ろからローパープーリーに通して引き込みます。



- 15 下記のチェーンの長さガイドに従って、チェーンを適切な長さに切断します。ディレイラー・ハンガーの位置が正確であることを確認し、ディレイラーのアップパー・ストップとローパー・ストップを確認します。SRAMのガイドラインに従い、Bリミットのギャップを設定します。

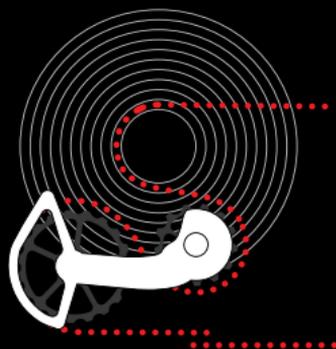
26Tのコグは14mm、28Tのカセットは10mm、33Tまたは36Tのカセットは5mmに間隔をセットします。カセットとプーリーホイールの間のアライメントが適切になるようにします。すべてのギアの組み合わせで変速が正常に行われることを確認します。

不明な点がある場合は、プロメカニックに調整を依頼してください。

# Chain length

## チェーン長について

以下の手順に従い、現在のチェーン長を測り、必要に応じて交換しましょう。



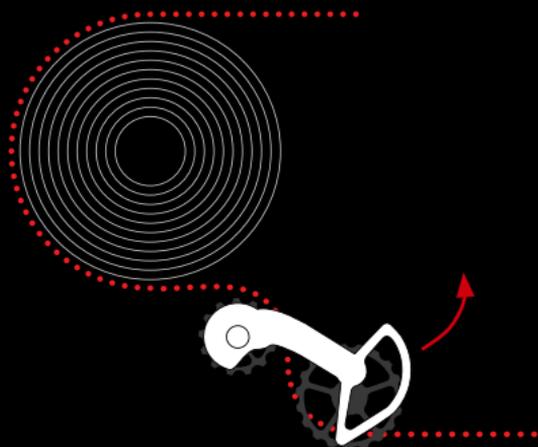
**STEP 1** チェーンをリヤカセットのトップ、フロントチェーンリングのインナーギアに変速します。

チェーンを切って長さを合わせるときのように、チェーンの両端を引っ張り、適切なチェーン長かどうかを判断します。2番目の図のように、ケージの下側がカセットから離れる形で下方へ動かそうとするはずです。



STEP 2 チェーンにテンションがかかり、OSPWシステムが上図のように整列しているように見えたら、チェーンを1リンク（インナーリンクとアウターリンクの組み合わせ）短く切り、すべてのギアに適切なチェーンのテンションがかかるようにします。

このギアの組み合わせ（常にカセットのトップにあること）に必要なチェーンテンションが得られる個数のリンクでチェーンをつなぎます。



STEP 3 チェーンを適切な長さに調整したら、OSPW AERO のクリアランスをテストします。リアディレイラーをカセットの最大歯数にした状態でクリアランスを確認することが重要です。上記の図の矢印のようにケージケージが反時計回りに回転するようにします。OSPW AEROのアップパーリーホイールと、最大歯数のカセットの間にある程度の隙間がある事が重要です。クリアランスが十分でない場合は、Bテンションボルトを適宜調整してください。

# Warranty Program

## 保証プログラム

CERAMICSPEEDは高い品質の製品を作り続けています。それでも不測の事態に備えるべく、CeramicSpeedは幅広い保証プログラムを用意しています。

### 保証期間

**OSPWケージや全てのCOATED製品：一生涯**

**スタンダードのベアリング製品：4年間**

詳しくはCeramicspeed.comのサポートページ内、「保証プログラム」の項をご覧ください。

CeramicSpeedは、業界最高のセラミックベアリング製品の製造や販売に本気で取り組んでいます。お使いの製品がお客様のご期待に沿わず、かつその原因が素材およびまたは製造上の欠陥にある場合は、ぜひお問い合わせください。